

# Pink Ribbon Festival in Tsukuba 2019報告書



# つくばピンクリボンフェスティバル2019

Breast Cancer Awareness

## 歩こう、走ろう、乳がん検診を受けよう！



五十嵐立青つくば市長



原大会実行委員長



植野映理事長



ドローン撮影準備中

タイムテーブル 2019年4月28日(日)

9:00	受付
9:40	<b>開会式</b> 主催者挨拶 五十嵐 立青 名誉大会長 つくば市長 開会の辞 原 尚人 大会実行委員長 筑波大学医学医療系 乳腺甲状腺内分泌外科 教授 司会 鈴木 もえみ フリーアナウンサー
9:50	ストレッチ、集合写真撮影 (ドローン)
10:00	<b>ウォーク&amp;ラン</b> ウォーク5km (スタート会場→学園広場公園で休憩→ゴール会場) ラン10km (スタート会場→カスミ本社前→中央公園で休憩→ゴール会場)
12:00	<b>乳がんクイズ</b> 坂東裕子副実行委員長  <b>のの字の歌体操</b> ムーラン 他
12:40	<b>閉会式</b> 挨拶 植野 映 つくばピンクリボンの会理事長

10:00 ~ 16:00	展示ブース (つくばピンクリボンの会)
11:00 ~ 15:00	お茶会 (有志)



ゆるキャラと一緒に

発行：NPO法人つくばピンクリボンの会

写真撮影：workshop SA (齋藤さだむ+石崎照海+高橋良輔+ドローン・竹内慎)

写真・画像・記事等の無断転載、無断使用をお断りします。

**主催** 特定非営利活動法人つくばピンクリボンの会 **Tsukuba Pink Ribbon Coalition**  
つくばピンクリボンフェスティバル **2019** 実行委員会

**名誉大会長** 五十嵐立青 / つくば市長

**大会実行委員長** 原 尚人 筑波大学医学医療系 乳腺甲状腺内分泌外科 教授

**共催** 茨城県保健福祉部疾病対策課、つくば市、つくば市保健福祉部健康増進課、茨城県医師会、茨城乳腺疾患研究会、公益社団法人茨城県診療放射線技師会、けんこうリンク（茨城県総合健診協会）、筑波大学附属病院、公益財団法人筑波メディカルセンター、公益財団法人日立メディカルセンター、一般財団法人茨城県メディカルセンター、社会医療法人若竹会つくばセントラル病院、医療法人社団筑波記念会筑波記念病院、総合病院土浦協同病院、一般社団法人つくば市医師会、東京医科大学茨城医療センター、茨城県歯科医師会、つくば市物産会

**後援** 公益社団法人茨城県看護協会、認定 **NPO** 法人乳房健康研究会、首都圏新都市鉄道株式会社、**NPO** 法人茨城県ウォーキング協会、土浦ケーブルテレビ株式会社、一般財団法人研究学園都市コミュニティーケーブルサービス、つくばコミュニティー放送株式会社（ラヂオつくば）、朝日新聞水戸総局、東京新聞水戸支局、株式会社茨城放送、株式会社常陽リビング社、生活協同組合パルシステム茨城

**協賛（順不同）** 関彰商事株式会社、つくば学園ロータリークラブ、つくばシティロータリークラブ、株式会社カスミ、有限会社宮島達男事務所、東洋羽毛北関東販売株式会社茨城営業所、古河ヤクルト販売株式会社、株式会社アートネイチャー、株式会社アデランス、株式会社横山印刷、株式会社イセブ、茨城県立つくば美術館内ミュージアムショップ a、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、つくば市物産会、一般財団法人茨城県メディカルセンター、医療法人社団筑波記念会筑波記念病院、医療法人慶友会守谷慶友病院、社会医療法人若竹会つくばセントラル病院、一般社団法人石岡市医師会石岡市医師会病院、永田歯科医院、前島レディースクリニック、二の宮越智クリニック、杉谷メディカルクリニック、医療法人おおたしるクリニック、石川クリニック、うえの整形外科、けんこうリンク（茨城県総合健診協会）、アストラゼネカ株式会社、エーザイ株式会社、株式会社ヤクルト本社、協和発酵キリン株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、サノフィ株式会社、塩野義製薬株式会社、大鵬薬品工業株式会社、武田薬品工業株式会社、中外製薬株式会社、日本イーライリリー株式会社、日本化薬株式会社、ノバルティスファーマ株式会社

**協力** 日本ボーイスカウト茨城県連盟つくば第3団、つくば国際大学医療保健学部、公益財団法人いばらき腎臓財団、土浦市、土浦市地域公共交通活性化協議会、森の会・筑波メディカル・ピンクリボンの会、くるみの会、スポーツステーションつくば、田中佐代子 / デザイン、竹内真優花 / イラスト

連絡先 特定非営利活動法人つくばピンクリボンの会事務局  
ファックス：029-856-2002  
E-mail pinkfes2012@mbr.nifty.com  
〒305-0005茨城県つくば市天久保1-1-1筑波メディカルセンターメディカルスクエア2F

## ♡ ピンクリボンフェスティバル2019 を終えて

原 尚人

筑波大学医学医療系 乳腺甲状腺内分泌外科

ピンクリボンフェスティバル2019の実行委員長をやらせていただきました。今年メインは5kmのウォークまたは10kmのランということで天気が心配されましたが、幸運なこと前日翌日雨天にも関わらずフェスティバル当日のみこの上ない晴天に恵まれました。10連休の2日目ということで参加者数もご不安を指摘される方もいらっしゃいましたが、食のフェスティバルと一緒に開催したこともあり、多くの方にご参加いただきほっとしております。

実行委員長やラン担当責任者の目からみて感想や今後の対策を少々述べさせていただきます。

・全体の準備、運営について

中野さんをはじめコアの実行委員のご負担が大きすぎる印象です。今後の改善方法としては、最初の会合で各部門へ分担および責任者を決め、その分担メンバーで骨子、素案、具体的取り決めをおおよそ終了し全体ミーティングでは確認や全体で議論すべきことのみ絞ると効率化し、コアの方々の負担も減ると思います。当日も急な変更や事前打ち合わせの相違など、中野さんに確認しなければならぬこと 多々発生しましたが、広い会場でしたので連絡に苦労したことが多かったと思います。同様に部門責任者が把握できれば対処しうることも多くなります。ただし、今後も広い会場を使用する場合、トランシーバーやLINEなどリアルタイムで連絡できるようにしておいた方が良いと思います。

・食のフェスティバルとのコラボについて

おおむねお互いのメリットになり良かったと思えました。

当方へのメリット：テントなど中心とした会場設営、舞台および音響設営など人力も予算も節約できたと思えます。クイズ景品へのご提供も助かりましたし、ボランティアにワンコイン渡して自由に好きなもの食べていただくアイデアもコラボならではとっても良かったと思えます。

先方へのメリット：ピンクリボン参加分来場者が増え、ワンコイン以上にお金も使った方が多かったようで物産会の主催者の方々も喜んでおられました。翌日御礼も兼ね会場を訪れましたが、ピンクリボン当日に比べかなり来場者が少ない印象でした。

デメリット：クイズや閉会式の際は周囲の喧騒でマイクを通じても声がやや聴きづらかったかもしれません。

・ラン担当責任者として

今回けがをされた方はひとりもいなかったのが良かったですが、おひとりご気分が悪くなり途中で帰られた方がいました。毎回感じることでありますが、皆様途中で勝手に

コンビニに行ったり、トイレに行ったりでわずか数十名でも責任者が全員の状況を把握するのは無理だと思います。ウォークも同様ですがボランティアの誘導には限度ありますので、自己責任の範囲をあらかじめ明記しておく必要があると思います。

最後に多くの方々のご協力のもと無事にフェスティバルを終えることができたことを改めて深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



緑の中をラン

## ♡ ピンクリボンクイズ

坂東 裕子

筑波大学 乳腺甲状腺外科

今年も天気に恵まれて、平成最後のつくばピンクリボンフェスティバル当日を迎えました。参加者の皆様、ご後援・ご協賛をいただきました皆様、ボランティアの皆様、当日参加は叶わずともピンクリボンにご協力いただきました皆様、そして実行委員の皆様、誠にありがとうございました。今年は初の試みとしてグルメイベント“つくばGO! 馳走カーニバル”との同時開催となり、メイン会場の研究学園駅前公園は大変多くの人々で賑わいました。

私が担当したクイズ&乳癌ミニ知識解説コーナーは、ウォークやランの参加者のみならず、グルメイベントを楽しみに来られた方も数多くご参加いただきました。協賛企業や団体、そしてグルメイベント各店舗などからは魅力的な商品をご提供いただき、参加者の目の色も真剣でした。小さなお子様からご年配層まで、老若男女皆様が積極的に手を上げていただき、また賞品争奪じゃんけんなど大変な盛り上がりでした。牛久大仏など、茨城県



クイズ大会

でもピンクリボライトアップなどがあるといいですね。司会をご担当いただいた鈴木もえみさんには円滑に進行していただき、暑いさなかではありましたが、楽しいひと時になったのではないかと願います。反省点としてクイズはやや難易度が低すぎたかな？とも思いましたが、より多くの方に関心を持っていただき、明日からのご自身やご家族の健康生活に活かしていただきたいという目的は果たせたように思います。次の機会にはもう少し難易度を上げた問題も取り揃えたいと思います。

今年のフェスティバルは例年以上にウォーク・ラン、食、クイズなどエンターテインメント性を楽しみつつ、健康意識を高める良い機会になったものと思います。つくばピンクリボンは医療者、がん経験者やそのご家族、乳がんに関心をお持ちの方など、だれもが乳がん死をなくすために、ともに考え行動する市民団体です。これからも皆様のご参加、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます！



司会 鈴木もえみ

## ♡ ドローンを使っの空撮

鈴木 もえみ  
フリーアナウンサー

今回、最新のドローンを使って初めてハート空撮がありましたが、実はこの撮影で私は「ある重要任務」を背負っていたので、無事撮影が終わるまではまるで007のジェームスボンド並みの緊張感でした(笑)。カメラマンのサダムさんから「もえみさん！午前9時53分通過のTX（つくばエクスプレス）込みでドローン空撮で写真を撮りたいので、絶対に9時50分には参加者全員をハート型に並べてね。アナウンス、よろしく」と、突然重要ミッションのご指示があったのです。「うわ〜！そんな話、聞いてないですよ〜！」「うん、さっき決めたから(笑)」…

TXの通過時刻と撮影時間を合わせて数秒間の勝負って、さすがサダムさん！しかし、司会進行役としては相当ドキドキ過ぎる企画(笑)！

そこで大変恐縮ではあったのですが、五十嵐市長には少し早めに会場入りして頂き、開会式も若干前倒しでスタートさせて頂く事になりました。

さて、ピンクリボンスタッフの皆さまのチームワーク

の良い臨機応変な引率もあり、なんだかんだと9時50分に参加者全員で広場に大きなハートをつくりました。空中にはTXの通過のタイミングを待って最新のドローンがぶんぶん飛んでいます。いよいよTXが通過しそうです。

ところが！参加者のみなさんは後ろを通過するTXが気になって、カメラではなく後ろのTXを見てしまう人が続出！慌てて「TXではなく、ドローンを気にして見てください〜！」と何度もアナウンス（汗）

最新のドローンを使って、500人以上の参加者で作ったピンクリボンフェスティバルの大きなハート♡初めてのドローン撮影！ドローンが上空で動くたびにスタッフも参加者も大興奮。私もドローンの操作の上手さや速度の速さにびっくりしてしまいました。みんなで作った大きな大きなハートの背景にはつくばエクスプレス（TX）とつくば庁舎も写っています。素晴らしい技術ですね！

こんな風に温かい大きなハートに包まれてみなさんと一緒に1つの大きなハートを作っていけますように。これからも自分自身も出来る事から精一杯のお手伝いをしていきたいと改めて感じました。本当に楽しい1日でした！

## ♡ 輪が広がるボランティア

阿部 八千代  
茨城県診療放射線技師会

快晴で始まった。もちろん雨の心配などみじんもしなかった。私は晴れ女を自負している。つくばピンクリボンフェスティバル実行委員が集まり実行委員長、理事長のお話、事務局からの連絡事項があった。

技師9名、つくば国際大学の学生12名が技師会を通してボランティア登録をした。見慣れた顔ぶれが多い。工夫し改善しながら着々と分担をこなしていく、いつもの光景だ。頼もしい。4年生の学生も参加していた。これからの一年は就職活動に国家試験対策にと人生において大事な一年になる。そんな中ボランティアに参加してくれたことがうれしかった。彼らに幸を、と願わずにはいられない。学生が作るアニマル風船は子供たちに毎回人気で、つられて保護者の方がイベントに参加するパ



受付

ターンが多くみられる。今回も例にもれず、はにかみながら風船をもらいに来る子供たちと一緒に多くのご家族がイベントに参加してくれたと思う。

いつも思うことは、いろいろな職種の方がかかわってつくばピンクリボンフェスティバルが成り立っているということだ。医師、患者の会、ウォーキング協会、ボーイスカウト、健診関係、そしてボランティアの家族の皆様等々、異職種との交流はいろんな発見があり、学ぶことも多い。経路の安全確認の項目も、患者の会の情熱も。新しい試みとしてお茶会があった。ウォークやランの動に対し、お茶会は静、和菓子のピンクリボンのマークがまた感動だった。こういう参加の仕方もあるんだな、と決まりきった形にとらわれがちな思いを払しょくしてくれた。

まだまだいろいろな可能性を感じた今回のフェスティバルだった。

## ♥ つくばピンクリボンフェスティバル 2019への参加報告

飯島 太郎

日本ボーイスカウト茨城県連盟 つくば第3団 参加代表

私たちボーイスカウトつくば第3団は、本年度もつくばピンクリボンフェスティバルに参加させていただきました。私たちボーイスカウトの活動の大きな目的の一つである「社会奉仕活動」を、「お母さんへの感謝の心」、「お母さんの健康を想う心」を通して学べる良い機会であり、子供から大人までの隊員および指導者が、ボランティアスタッフ、ウォーク参加者として100名で参加させていただきました。スカウトたちは両手いっぱいピンクバルーンを持って、元気に歩きながら啓発活動を行いました。ウォークの道中は、ボランティアスタッフの皆様には様々なケアや安全確認、励ましのお言葉をいただき、ゴールでは皆様に温かく迎えていただき、子どもたちも歩ききったという達成感に溢れているようでした。今後もピンクリボン活動を通して、より多くのお母さんたちが自身の健康を大切にされるよう心から願うとともに、実行委員会の皆様に心より感謝申し上げ、ご報告と致します。ありがとうございました。



ボーイスカウト

## ♥ つくばピンクリボンフェスティバル2019

山野井 ユキ子

NPO法人茨城県ウォーキング協会

県ウォーキング協会は、日本人女性として最も多い「乳がん」の早期発見と検診の大切さをウォーキングを通して皆様に伝える啓発活動に賛同し、交通誘導スタッフとして20名が参加しました。

大型連休の4月28日 日曜日 晴天。

集合場所の研究学園駅前公園は、つくば市役所駐車場が無料開放され、朝から参加者の皆様が多く集まりました。

ウォーキングは530名以上で、団体歩行の役割・分担を決め、参加者が事故・怪我など無いよう交通誘導にあたりました。しかし、信号が多く非常に長い列となり、途中歩道で後列を待つので、ゴール時間が心配でしたが、最後まで元気にウォーキングを楽しんでくれたと思います。今年もボーイスカウトの子供達やベビーカーの若いお母さん、30～40代くらいの男性参加者が多数いて、つくばピンクリボンが地域に根付いたことをうれしく感じ、足取りも軽やかになりました。

“年1回 ピンクのTシャツを着て、町なかを堂々と歩ける”すばらしい計画を立案し実行してくれるつくばリボンの会と各種ボランティアの皆様にご感謝申し上げます。楽しい1日をありがとうございました。



茨城県ウォーキング協会

## ♥ ピンクリボンフェスティバルにボランティアとして参加して

松崎 莉子

日本大学薬学部1年生

私はこのボランティアでウォークやランの参加者に水を配ったり、ゴール地点でヤクルトやファイルを配る仕事をしました。その中でピンクリボン運動や乳がんについて参加者から尋ねられることが何度ありました。ですがピンクリボンアドバイザーの資格を持つ母の勧めで何となくボランティアに参加したこともあり私自身の乳がんについての知識が浅く、ましてやピンクリボン運動についてもよく知らなかったので答えることができませんでした。この活動は私にとって乳がんやピンクリボン

運動について知るきっかけとなりました。現在日本人女性は一生涯のうちに11人に1人は乳がんを患うと言われています。自分にも起こりうるものだと思えなければならぬと知り少し怖くなりました。ですが癌は早期発見をすることで治る病気だと言える時代です。そのためにもピンクリボン運動で行っている乳がん検診の受診を促すための活動はとても大切なことだと思いました。乳がんでの死亡者が少しでも減るように周りの友達や知り合いに呼びかけたり、私自身も定期的に乳がん検診を受診したりしていきたいです。



今年も手作りグッズで参加

## ♥ 初めてのピンクリボンフェスティバル

鴻巣 真梨子

つくば国際プレストクリニック

今回ピンクリボンの会の活動に初めて参加させていただきました。

準備の段階で、先生方やボランティアの方たくさんの方の輪がありました。

天気に恵まれた日で、ピンクのハートの風船がたくさん集まっていよいよ始まるのだと胸が高鳴りました。

私は乳がんに関する展示ブースの方で微力ながらお手伝いをさせていただきました。

検診を受けたことが無い方へのご案内や、模型を使いながら実際に触っていただいて、しこりの触る感覚を体験していただいたりしました。自己触診のやり方など、熱心に質問して下さる方も多く、乳がんに対しての意識も高くなりつつあるのかなと感じました。

また、ご自身の体験を話して下さる方もいらっやいまして、私自身医療に携わる者としてたくさん学べる場を頂けたと同時にもっと知識をつけて私からも伝えてゆける力をつけたいなと思えた1日でした。

日曜日の開催ということもあり、公園では親子連れでブースを見ていかれる方も多く、お子さんがピンクの風船が気に入り、そこから声をかけていただいたりする事も多かったのが印象的でした。日々の診療でもお子さんをきっかけに気付いたなどのお話をうかがった事もあります。どんなきっかけでもこどもから親世代、家族、周りの大切な人へと興味を持ってもらい、ピンクリボンの輪がこれからも広がっていく事を願います。

参加することで様々な『繋がり』、活動を続けていく皆さんの温かい思いを感じました。

そこに参加できたことを嬉しく思いますし、この日に感じた気持ちをこれからも大切にして生活に生かしていければと思います。



古民家前

## ♥ ピンクリボン茶会

原 充子

ピンクリボンフェスティバルお疲れ様でした。

今回、ボランティアの皆様にお抹茶を一服ということでお茶会をさせていただきました。

初めてのことでどうなるかと思いましたが無事終わることができました。人数が集中する時には対応しきれずお待たせしてしまうこともありましたが概ね好評をいただけたようで嬉しく思います。

このような機会を与您にいただき有難うございました。



お手前の様子

## ♡ 平成最後のピンクリボンフェスティバル

佐藤 千亜希

昨年に続き、今年もスタッフとしてフェスティバルに参加させていただきました。ひたちなか市から単身での駆けつけ参戦ゆえ、いつまでも不慣れなオーラが生まれておりますが、いつも温かく受け入れてくださるみなさまのおかげで、今年も充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございます。

フェスティバルのチラシが出来上がると、自分の縄張りである水戸・ひたちなかエリアの図書館などへ配置しに。そんな作業も、他の方と守備範囲がかぶらないことを逆手にとった私なりの楽しみのひとつとして定着してきました。(どうかステキなチラシに引き寄せられて参加して下さる方が一人でも増えますように・・・)

私自身は、乳がんの診断・手術から丸5年が経過しました。今、こうしてワクワクした日々を過ごせるのも、検診を受けていたからこそです。せまりくるすべての試練を遠ざけることはできないかもしれませんが、検診への一歩を踏み出せば後悔は確実に減らせます。微力ながら、これからも身を以てそのことを伝え続けたいです。

令和になっても！



展示ブース

## ♡ ピンクリボンフェスティバルに参加して

中島 百合

つくば国際プレストクリニック

4月28日、お天気にも恵まれ、研究学園の一角でピンクリボンフェスティバルが開催されました。

『これ、これでしょ?』展示ブースには似通った声が飛び交い、乳がん模型に触れて多くの方ががんに気が付き、そう言いました。

近年、乳がんを患った芸能人がマスメディアを通じて実体験を報告すると、瞬く間に乳がんの認知度は高まって来たと思います。一方、“友人や知人が手術した”、“近所の方が入院している”など、身近な体験談を聞き、自身の身体に興味を抱くようになった方も多くいるのを来所された方々から聞きました。

今回のピンクリボンフェスティバルは食の祭典と日程が重なったこともあり、男性や小さなお子さんを連れの方、カップルの方も多く来られていました。

こうして老若男女問わず、沢山の方々に乳がんを知り・または乳がんの理解を深められる機会はとても貴重な良い機会・大切だと思います。

乳がんは女性にとって、もう遠い病気ではなく、身近になってきています。検診を受ければ早期発見にも予防にもなります。もっと沢山の方に自身の身体に興味を抱いてもらうことを願ってやまないとともに、プライベートの場でも少しでも多くの友人知人に乳がんを知ってもらえるよう、これからも活動のお手伝いをつづけていこうとおもいます。



## ♡ つくばピンクリボンフェスティバルに参加して

市塚 淑江

私は10年前に乳がんになりました。10年前の自分は、乳がんについて知らないこともたくさんあり、この後どうなるか不安な気持ちがあっあって、乳がんのイベントや講演会があると、できるだけ参加して、正確な情報を得て知識を増やしてきました。過去に何度かこのピンクリボンフェスティバルにも参加し、相談や講演会で有意義な



時間を過ごし、検診の大切さを感じてきました。

今回初めて、ピンクリボンフェスティバル2019に事務局側の立場で準備の段階から参加させていただき、当日を迎えるまでのいろいろな作業をしてきました。綿密な計画、打ち合わせ、原稿やポスターのチェック、連絡調整など…長い歴史のあるこのフェスティバルは、本当に多くの方々が関わり、支えてきているということを知りました。

微力ではありますが、今までとは違う立場で今回のフェスティバルに関わり、参加できたことは本当にうれしかったです。

当日の朝は前日とは打って変わっての晴天でした。担当である受付を中心に準備を始めました。8時を過ぎたころから、ランとウォークに参加する人たちがたくさん見え、長い列ができ始め、受付が開始されるのを心待ちにしている様子でした。そんな参加者の方々を見て、私自身も心高ぶったことを覚えています。

無事ラン・ウォークが終了し、クイズ、のの字の歌体操と進み、参加者の方々の充実した様子を目の当たりにして、同じ時間を過ごせたことにとっても感激しました。

当日を含め、たくさんのスタッフの方々の協力、かわいゆるキャラたち、ドローンでの写真撮影、物産会の食事、お茶会と本当に思い出残るフェスティバルでした。

来年もまた協力できることがあったら参加したいと思っています。このような機会を与えていただき、本当にありがとうございました。



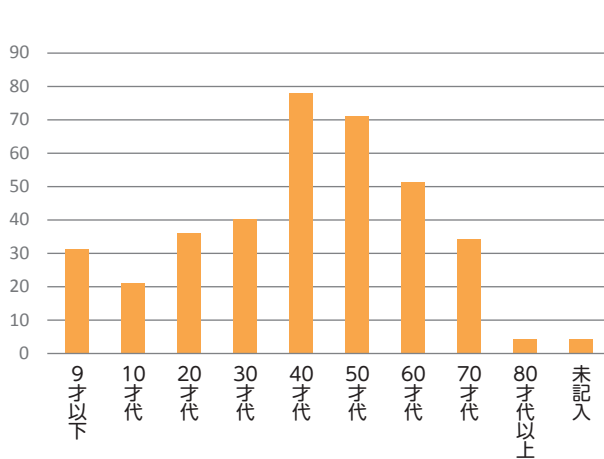
ボランティア



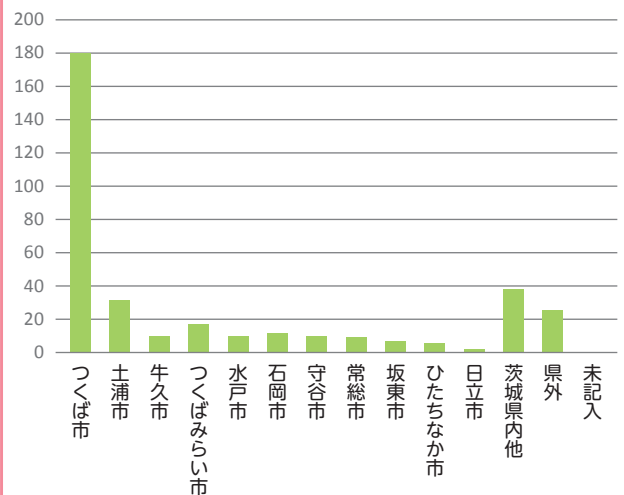
のの字の歌体操

## 当日申込者370人

### 参加者年齢



### お住まい





## ♥ 会計報告

### 1. 収入の部

項目	金額 (円)
協賛金	1,360,000
寄附金	15,330
雑収入	200
収入合計	1,375,530

### 2. 支出の部

項目	金額 (円)
諸謝金	90,000
会場費	75,000
大会イベント費	200,160
印刷製本費	532,134
旅費交通費	99,180
消耗品費	53,371
通信運搬費	99,895
会議費	118,328
租税公課	2,400
支払手数料	3,132
保険料	25,850
広告宣伝費	28,080
賃借料	48,000
支出合計	1,375,530

2019年6月10日現在

## ♥ 実行委員 (あいうえお順)

赤塚信子	森の会-筑波メディカル・ピンクリボンの会-
阿部八千代	茨城県診療放射線技師会
飯島太郎	日本ボーイスカウト茨城県連盟つくば第3団
池田達彦	杏雲堂病院乳腺外科
石川えり子	森の会-筑波メディカル・ピンクリボンの会-
市塚淑江	くるみの会・ピンクリボンの会
植野 映	つくば国際プレストクリニック
上野 修	上野歯科医院
梅本 剛	
太田代 紀子	おおたしるクリニック
大野純子	
小川直子	国立病院機構 水戸医療センター
小田陽子	筑波大学
海瀬博史	東京医科大学 茨城医療センター
春日きくえ	(一財)茨城県メディカルセンター
春日晴夫	
川上 清	茨城県ウオーキング協会
神田裕子	ピアサポートつくば
久保有沙	株式会社カスミ
倉田歩実	株式会社カスミ
小仁所圭子	石岡市医師会病院
小林裕治郎	(一財)茨城県メディカルセンター
駒崎公代	
齋藤さだむ	写真家
佐久山英樹	けんこうリンク
佐藤千亜希	
清水亮一	(一財)茨城県メディカルセンター
白水直美	くるみの会
鈴木厚子	森の会-筑波メディカル・ピンクリボンの会-
鈴木もえみ	フリーアナウンサー
諏訪部まどか	くるみの会
田中佐代子	筑波大学芸術系
塚本芙美子	
津田香緒里	つくば国際プレストクリニック
東野英利子	つくば国際プレストクリニック
長岡恵利子	森の会-筑波メディカル・ピンクリボンの会-
永田 脩	永田歯科医院
中野潤子	くるみの会
原 尚人	筑波大学医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科
坂東裕子	筑波大学医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科
平井理心	筑波大学附属病院 医療メディエーター
文 由美	つくばセントラル病院外科
松崎美和	
松原雪枝	
宮崎満美子	
谷貝薫子	森の会-筑波メディカル・ピンクリボンの会-
八城健彰	日本ボーイスカウト茨城県連盟つくば第3団
柳田陽子	
山田光子	茨城県つくば美術館内 ミュージアムショップa
山田陽子	森の会-筑波メディカル・ピンクリボンの会-
山野井ユキ子	茨城県ウオーキング協会
吉澤智恵子	(公財)日立メディカルセンター
渡辺伊吹	

## ♥ 参加データ

ウォーク	537名
ラン	55名
実行委員・ボランティア	159名

## ♥ 取材協力

茨城新聞  
株式会社日宣メディックス





ドローンで空撮 つくば市役所とつくばエクスプレスを背景に

発行：特定非営利活動法人つくばピンクリボンの会

Tsukuba Pink Ribbon Coalition

つくばピンクリボンフェスティバル2019実行委員会

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-1-1 筑波メディカルセンター メディカルスクエア2F

Tel&Fax 029-856-2002

